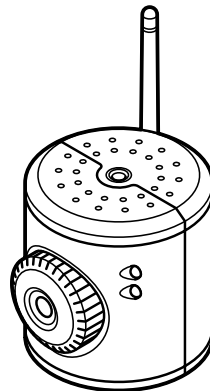
ネットワークカメラ CG-WLNC11MN

お使いの手引き Adminstrator編

導入ガイド 2
はじめに 4
必要なものを準備する 5
次のようなネットワークに接続できます 6
本製品をネットワークに接続する 8
ネットワークの設定を確認する 11
「NCSetup」をインストールする 12
本製品の基本設定をする 13
「NCView A」をインストールする 19
「NCView A」のメインウィンドウについて 20
画像が見られるか確認する 22
本製品を無線で接続する 24
撮影したい場所に本製品を設置する 27
インターネット経由で画像を見る 28

添付の『はじめにお読みください』を必ずお読みになり、正しく設置・操作を行ってください。

PN J613-M7460-01 Rev.A

導入ガイド

1 必要なものを準備します(→P.5)

接続するネットワークにあわせて、ルーターやアクセスポイントなど必要な機器を準備してください。

2 本製品をネットワークに接続します(→P.6,8)

本製品の接続例を紹介しています。接続例に合わせて本製品をルーターやパソコンなどに接続し、電源を入れます。
本製品を無線LANで利用する場合も、最初の設定は有線接続で行ってください。

3 接続するネットワーク(LAN)の設定を確認します(→P.11)

ルーターのIPアドレスや、プロバイダーのユーザーID、パスワードなど、接続するネットワークの設定を確認しておいてください。無線で接続するときは、アクセスポイントの設定も確認しておいてください。

4 パソコンに「NCSetup」をインストールします(→P.12)

本製品の基本設定を行うために、設定用のパソコンに添付のCD-ROMから「NCSetup」をインストールしてください。

5 本製品の基本設定をします(→P.13)

本製品の基本設定をします。ご自分の接続例にあった説明をご覧ください。
接続例４のカメラとパソコンを無線で直接接続して画像を見る場合は、「NCSetup」での設定は必要ありません。「⑧本製品を無線で接続する」に進み、本製品とパソコンをアドホックモードで無線接続して使用してください。

本製品をネットワークに接続して、画像を見られるようにするために必要な作業と、本書の参照箇所を説明しています。このガイドに沿って作業を進めてください。

6 パソコンに「NCView A」をインストールします(→P.19)

本製品の画像を見るための「NCView A」を、設定用パソコンにインストールしてください。

7 画像が見られるか確認します（→ P.22）

「NCView A」にカメラを登録し、画像が見られるか確認してください。

8 本製品を無線で接続する（→ P.24）

画像が見られることを確認できたら、本製品と無線ルーターまたはアクセスポイントを無線で接続してください。

9 撮影したい場所に本製品を設置します（→ P.27）

無線の設定ができたら、本製品を撮影したい場所に設置してください。

10 インターネット経由で画像を見てみます(→P.28)

ルーターの設定を行って、インターネット経由で本製品の画像を見られるようにします。設定が完了したら、「NCView A」で画像を見てみます。

ネットワークに接続している他のユーザーが画像を見るには

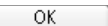
手順 10 までが完了すると、本製品の設定を行ったユーザー（所有者）が画像を見られるようになります。ネットワークに接続している他のユーザーが本製品の画像を見るには、本製品に接続できるようにユーザー登録をする必要があります。詳しくは、添付CD-ROM の『詳細設定ガイド』「カメラに接続できるユーザーを制限する＜ユーザー管理＞」をご覧ください。
また、各ユーザーは、パソコンに「NCView S」をインストールしてカメラを登録する必要があります。詳しくは、『お使いの手引き Standard 編』をご覧ください。

はじめに

このたびは、「CG-WLNC11MN」をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。本書は、本製品を正しくご利用していただくための手引きです。必要なときにいつでも参照していただけるように、大切に保管してください。

コレガ製品に関する最新情報（ファームウェアのバージョンアップ情報など）は、弊社のホームページ（http://www.corega.co.jp/）でお知らせします。

お願い

・本製品の利用方法によっては、本製品と接続する他のネットワーク機器（ルーター、モデムなど）の設定変更が必要な場合があります。各機器の取扱説明書を確認して、設定を行ってください。
・本書では、Windows XPを例に説明しています。ご使用のOSや機器によって、画面や手順が異なることがあります。
・接続、設定が正しくできないときは、添付CD-ROMの『詳細設定ガイド』「PART4　トラブルや疑問があったら」をご覧ください。

添付マニュアルのご紹介

本製品には、次のマニュアルが添付されています。各マニュアルをよくお読みになり、本製品を正しくお使いください。

・はじめにお読みください（紙マニュアル）
安全にお使いいただくためのご注意や、添付品の内容、各部の名称と役割、サポートに関する情報などを説明しています。本製品をお使いになる前に必ずお読みになり、正しくお使いください。

・詳細設定ガイド（PDFマニュアル）
所有者用の詳細設定ガイドです。「NCView A」の詳細な機能説明や、Webブラウザーでの設定方法、トラブルシューティングなどを説明しています。添付CD-ROMに収納されています。

・お使いの手引き　Standard編（PDFマニュアル）
「NCView S」のインストール方法、使い方、トラブルシューティングを説明しています。弊社のホームページからダウンロードできます。各ユーザーに配布してご利用ください。

記号と表記について

本書で使用している記号や表記には、次のような意味があります。

記号	注意	操作中に気を付けていただきたい内容です。必ずお読みください。
	メモ	補足事項や、参考となる情報を説明しています。
表記	本製品	CG-WLNC11MNを指します。
	「　」－「　」－「　」	「　」で囲まれた項目を順番に選択することを示します。
	[ ]	[ ] で囲んである文字は、画面上のボタンを表します。 例：OK → [OK]
	LANケーブル	本書では、UTPケーブル（アンシールド･ツイストペア･ケーブル）のことを指します。本製品の接続にはUTPケーブルを使用してください。

※本文中に記載のイラストや画面は、実際と多少異なることがあります。

必要なものを準備する

接続するネットワークにあわせて、ルーターやアクセスポイントなど必要な機器を準備してください。

●次の条件を満たすパソコン

パソコンは、あらかじめ、ネットワークに接続できるよう設定をしておいてください。

項　目	条　件
LAN ポート	10BASE-T または 100BASE-TX に対応した LAN ポートがあること
CPU	PentiumIII 450MHz 以上
メモリ	128M バイト（推奨：256M バイト）
解像度	800 × 600 ドット以上
プロトコル	TCP/IP がインストールされていること（特別な理由で削除していない限り、標準でインストールされています）
OS	Windows 98 SE/Me/2000/XP のいずれかがインストールされていること
Web ブラウザー	Internet Explorer 5.5 以上がインストールされていること
無線 LAN	IEEE802.11b規格に対応した無線LANアダプターがあること（本製品とパソコンを無線で直接接続する場合）

●LAN ケーブル

本製品を無線LANで利用する場合でも、最初の設定は有線接続で行うため、LANケーブルが必要です。本製品を接続する機器によって、必要な LAN ケーブルの種類が異なります。

LAN ケーブルは別売です。

・本製品をルーターやハブに接続する場合 … カテゴリー５のストレートケーブル
・本製品をパソコンに接続する場合 ………… カテゴリー５のクロスケーブル

●アクセスポイントまたは無線ルーター

IEEE802.11b 規格に対応したものを準備してください。

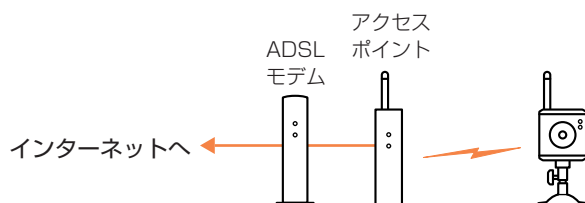
●ルーター、ハブなど

ネットワーク構成にあわせて、必要なものを準備してください。

次のようなネットワークに接続できます

接続例1　ルーターを使ってインターネットに接続する

ルーターを使ってインターネットに接続します。本製品はルーターに接続します。インターネット上から本製品の画像を見る場合は、ルーターでの設定が必要です。
ルーター機能付きのモデムを使用している場合は、ルーターの代わりに、アクセスポイントを使用して、同じように接続することもできます。

接続例2　アクセスポイントとモデムを使ってインターネットに接続する

この接続例の場合、まず、パソコンと直接有線接続して（P.10）本製品の設定をしてください。設定が完了してから、アクセスポイントと無線接続してください。

アクセスポイントを経由して、モデムと本製品を接続します。インターネット上から本製品の画像を見る場合は、本製品での設定が必要です。

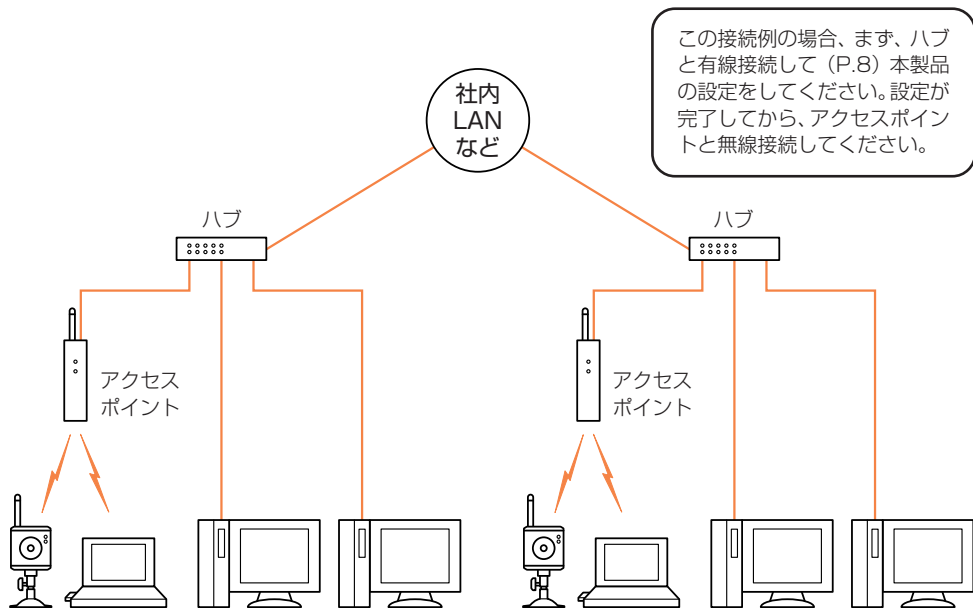
本製品を接続してネットワーク上から画像を見るには、次のような方法があります。ご自分のネットワーク環境に合った接続方法を選んでください。

接続例3　ハブを使って社内LANなどに接続する

この接続例の場合、まず、ハブと有線接続して（P.8）本製品の設定をしてください。設定が完了してから、アクセスポイントと無線接続してください。

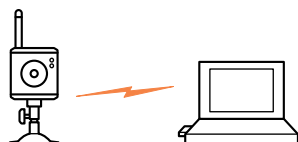
社内
LAN
など

ハブ

ハブ

アクセス
ポイント

アクセス
ポイント

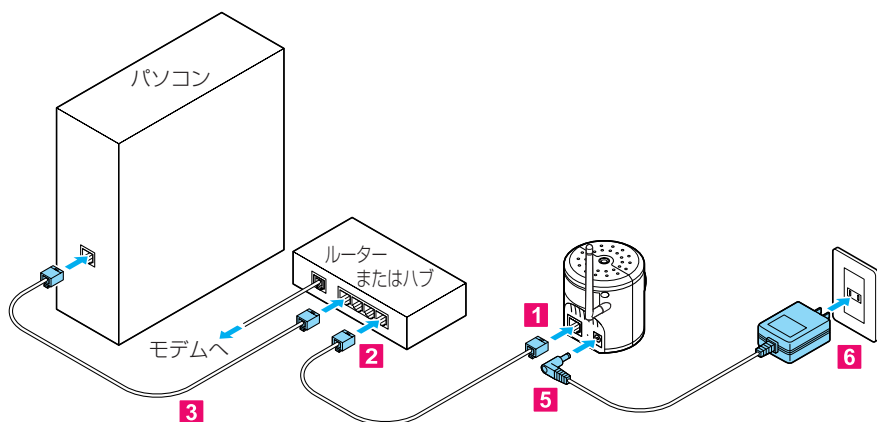
社内LANなど、LAN内のみで本製品を使用する場合（インターネットに接続しない場合)は、アクセスポイントを経由して本製品はハブに接続します。

接続例4　本製品とパソコンを無線で直接接続する

この接続例の場合、まず、パソコンと直接有線接続して(P.10)本製品の設定をしてください。設定が完了してから、無線接続にしてください。

本製品とパソコンを無線で直接接続して画像を見ることもできます。この場合は、本製品とパソコンをアドホックモードで接続してください。

本製品をネットワークに接続する

・本製品を無線LANで利用する場合も、最初の設定は有線接続で行ってください。
・接続を始める前に、本製品とネットワーク接続する機器（ルーター、パソコンなど）の電源をすべて切るか、電源コンセントから抜いておいてください。
・電源はたこ足配線にしないでください。
・必ず、添付のACアダプターを使用し、AC100Vの電源コンセントに接続してください。
・本製品には、電源スイッチがありません。ACアダプターのACプラグを電源コンセントに接続した時点で電源が入ります。ACプラグを電源コンセントから抜くと、電源が切れます。
・ACアダプターのACプラグを電源コンセントに差し込んだまま、DCプラグを抜かないでください。感電事故を引き起こす恐れがあります。

本製品をルーターまたはハブに接続する場合

1 LANケーブルのコネクタを本製品背面のLANポートに接続する
2 LANケーブルのもう一方のコネクタをルーターまたはハブのLANポートに接続する
3 設定用のパソコンをルーターまたはハブに接続する
4 ルーターまたはハブとパソコンの電源を入れる
5 ACアダプターのDCコネクタを本製品背面のDCジャックに接続する
6 ACアダプターのACプラグを電源コンセントに接続する

設定が完了したら、手順1、2で接続したLANケーブルを外して無線接続にしてください。

本製品をネットワークに接続します。ご自分のネットワーク環境に合わせて接続してください。

本製品をモデムに接続する場合

・本製品をモデムに接続する場合は、先に本製品をパソコンに接続して設定を行ってください。
・設定が完了するまで、設定用パソコン以外での無線接続をしないことをおすすめします。

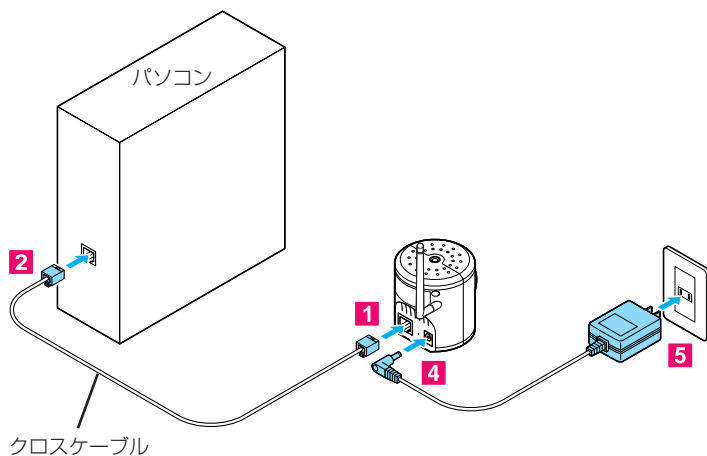
●有線接続

1 LAN ケーブルのコネクタを本製品背面のLAN ポートに接続する
2 LAN ケーブルのもう一方のコネクタをモデムのLAN ポートに接続する
3 モデムの電源を入れる
4 本製品のAC アダプターのDC コネクタを、背面のDC ジャックに接続する
5 本製品のAC アダプターのAC プラグを、電源コンセントに接続する

●無線接続

1 LAN ケーブルのコネクタをアクセスポイントのLAN ポートに接続する
2 LAN ケーブルのもう一方のコネクタをモデムのLAN ポートに接続する
3 モデムとアクセスポイントの電源を入れる
4 本製品のAC アダプターのDC コネクタを、本製品背面のDC ジャックに接続する
5 本製品のAC アダプターのAC プラグを、電源コンセントに接続する

●本製品をパソコンに直接接続する場合

・本製品とパソコンの接続には、別売のクロスケーブルが必要です。

1 LAN ケーブルのコネクタを本製品背面の LAN ポートに接続する
2 LAN ケーブルのもう一方のコネクタをパソコンの LAN ポートに接続する
3 パソコンの電源を入れる
4 AC アダプターの DC コネクタを本製品背面の DC ジャックに接続する
5 AC アダプターの AC プラグを電源コンセントに接続する

ネットワークの設定を確認する

接続するネットワークの設定を確認して、本製品のIPアドレスを決めてください。

本製品の接続、設定には次のような情報が必要です。接続するネットワークの設定を確認して控えておいてください。

・ルーター（LAN 側）、設定用パソコンの IP アドレス
・サブネットマスク、DNS サーバーのアドレス
・インターネット接続用のユーザー名、パスワード（フレッツ・ADSLなどでモデムに直接接続する場合）

また、本製品の IP アドレスも決めておいてください。

本書では、上記の設定を次のようにするものとして説明します。

IP アドレス		
	ルーター（LAN 側）	12.34.56.1
	パソコン	12.34.56.80
	本製品	12.34.56.78
サブネットマスク		255.255.255.255
優先 DNS サーバー		12.34.56.98
代替 DNS サーバー		12.34.56.99

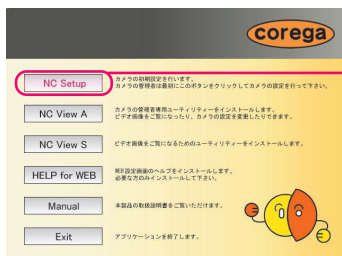
インターネット接続用のユーザー名	myname@isp.ne.jp
インターネット接続用のパスワード	password02

通信モード	Infrastructure
ESSID	corega
WEP（暗号キー）	128bit
チャンネル	6

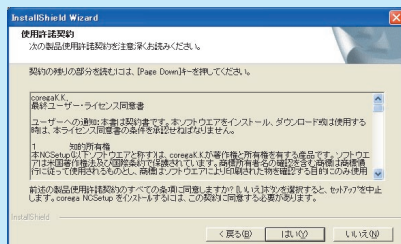
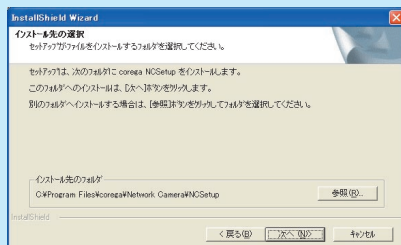
「NCSetup」をインストールする

本製品の基本設定を行うためのソフトウェア「NCSetup」をインストールしてください。

1 パソコンのCD-ROMドライブに、添付のCD-ROMをセットします。

2 次のような画面が表示されたら、「NCSetup」をクリックします。

「NCSetup」をクリックします。

3 画面の説明にしたがって、「NCSetup」をインストールします。

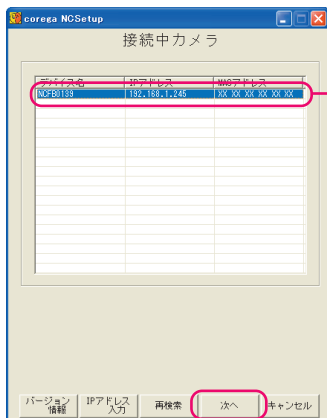
・インストールの途中で、右のような「使用許諾契約」の画面が表示されたら、「はい」をクリックしてください。

・「NCSetup」のインストールフォルダを変更したい場合は、「インストール先の変更」画面でインストール先のフォルダを変更してください。

4 「InstallShield Wizard」画面が表示されたら、[完了]をクリックします。

これで、「NCSetup」のインストールは完了です。

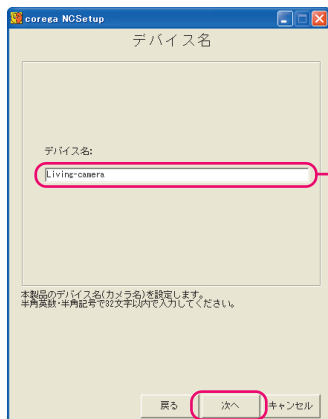
「NCSetup」のインストールが完了すると、ネットワークに接続されているカメラの検索が始まります。つづけて、本製品の基本設定を行ってください。

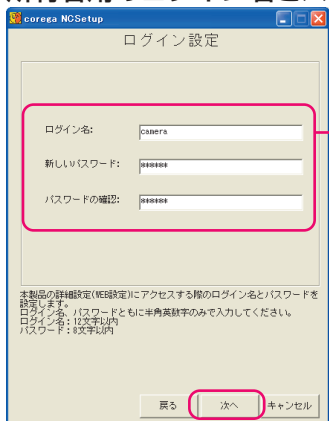
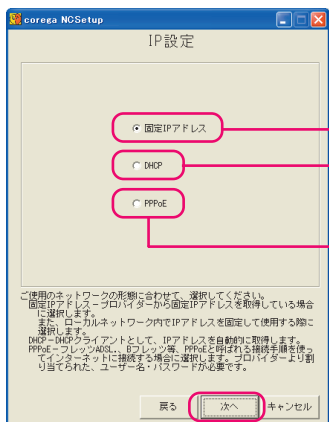
本製品の基本設定をする

「NCSetup」で、本製品の基本設定をしてください。接続するネットワーク構成にあった説明をご覧ください。

1 カメラの検索が終わると、次のような「接続中カメラ」画面が表示されます。設定を行いたいカメラを選択し、[次へ]をクリックします。

設定したいカメラがどれにあたるかは、デバイス名やMACアドレスをもとに探してください。
本製品のデバイス名は、工場出荷時には、次のように設定されています。
　NC ○○○○○○
○の部分には、MAC アドレスの下 6 桁が入ります。
本製品のMACアドレスは、背面のMACアドレスラベルに記載されています。

・本製品が表示されないときは、[再検索] をクリックして、検索しなおしてください。それでも表示されないときは、[IPアドレス入力] をクリックして本製品の工場出荷時の IP アドレス（192.168.1.245）を直接入力してください。
・本製品が自動検索されても本製品のIPアドレスと設定用のパソコンのIPアドレスが同一ネットワーク上にない場合は、IP アドレス変更の画面が表示されます。パソコンと同一ネットワークになるよう、本製品の IP アドレスを変更してください。

2 本製品の名前を入力して、[次へ]をクリックします。

本製品に任意の名前をつけます。設置場所や被写体など分かりやすい名前をつけてください。製品名を入力する必要はありません。最大入力文字数は半角英数字、記号で32文字までです。

3 所有者用のログイン名とパスワードを入力して、[次へ]をクリックします。

4 本製品のIPアドレスをどのように設定するかを選択して、[次へ]をクリックします。

P.6の各接続例では、それぞれ次のようになります。

接続例１ **ルーターを使用してインターネットに接続する場合**	LAN内で本製品に固定IPアドレスを設定する	固定IPアドレス
	プロバイダーから本製品用にグローバルIPアドレスを取得している	
	ルーターのDHCP機能を使用してIPアドレスを設定する	DHCP
接続例２ **アクセスポイントとモデムを使ってインターネットに接続する場合**	フレッツ・ADSL、Bフレッツなど、PPPoEでインターネットに接続する	PPPoE
	Yahoo! BBなど、DHCPでインターネットに接続する	DHCP
接続例３ **ハブを使って社内LANなどに接続する場合**	LAN内で本製品に固定IPアドレスを設定する	固定IPアドレス
	DHCPサーバーを利用してIPアドレスを設定する	DHCP

5 手順4で選択した項目によって表示される画面が異なります。「ネットワークの設定を確認する」(P.11)で確認した情報をもとに、必要事項を入力して、[次へ]をクリックします。

■固定IPアドレスを選択した場合

下の表を参考に、必要事項を入力します。

項　目	入力例	説　明
IPアドレス	12.34.56.78	本製品のIPアドレスを入力します。工場出荷時には「192.168.1.245」が設定されています。
サブネットマスク	255.255.255.255	接続するネットワークのサブネットマスクのアドレスを入力します。
ゲートウェイ	12.34.56.1	接続するネットワークのゲートウェイのアドレスを入力します。ルーターを使用してインターネットに接続する場合は、プロバイダーが指定するゲートウェイではなく、ご使用のルーターのIPアドレス（LAN側）を設定してください。
優先DNSサーバー	12.34.56.98	LAN内にDNSサーバーが設置されている場合、またはプロバイダーからDNSサーバーのアドレスを提供されている場合にアドレスを入力します。
代替DNSサーバー	12.34.56.99	

・ルーターを利用するときは、本製品に固定IPアドレスが割り当てられるよう、ルーターの設定も必要です。設定についてはルーターの取扱説明書をご覧ください。
・ネットワーク内でIPアドレスが重複しないようにしてください。

DHCP を選択した場合

・ルーターを利用するときは、本製品に常に同じ IP アドレスが割り当てられるよう、ルーターの設定も必要です。設定についてはルーターの取扱説明書をご覧ください。
・本製品の IP アドレスは、固定にしておくほうが、運用上、便利です。
・ネットワーク内で IP アドレスが重複しないようにしてください。

PPPoE を選択した場合

パスワードは画面上では「＊」で表示されます。入力ミスのないように注意してください。

6　必要な設定を行い、[次へ]をクリックします。

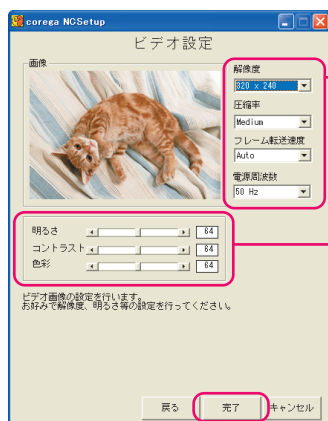
■ダイナミックDNSの設定

あらかじめDDNSサイトでサービスに登録手続きを行う必要があります。なお、DDNSサイトへの登録は、お客様の自己責任で行ってください。登録に関して弊社では一切責任を負いませんので、ご了承ください。

接続例	項目	入力例	説明
接続例 1 **ルーターを使用してインターネットに接続する場合**	ルーター側で設定します。ここでは「無効」を選択してください。		
接続例 2 **アクセスポイントとモデムを使ってインターネットに接続する場合**	項目	入力例	説明
	DDNSサービス	－	登録したDDNSサイトを選択します。
	ドメイン名	core-net.server.cc	DDNSサイトで登録したドメイン名を設定します。入力できる文字数は64文字まで、種類は半角英数字のみで［スペース］、"、'、#、&、%、=、+、?、<、>、: は使えません。
	ユーザー名	corega	DDNSサイトで登録したユーザー名を設定します。入力できる文字数は64文字まで、種類は半角英数字のみで［スペース］、"、'、#、&、%、=、+、?、<、>、: は使えません。
	パスワード	password xx	DDNSサイトで登録したパスワードを設定します。

本製品の基本設定をする

ダイナミックDNS、LEDコントロール、セカンドポートの設定について詳しくは、添付CD-ROMの『詳細設定ガイド』「インターネット上から画像を見られるようにする（DDNSの設定）＜システム設定＞」「LEDの設定をする＜システム設定＞」「ポートの設定をする＜システム設定＞」をご覧ください。

7 しばらくすると、画像が表示されます。必要に応じて、解像度や明るさなどの設定を行い、[完了]をクリックします。

下の表を参考に、表示された画像を見ながら設定を行います。

項　目	説　明
解像度	画像のサイズ（解像度）を設定します。単位はドット数で、横×縦です。
圧縮率	画像データの圧縮率を５段階に設定できます。「Very Low」を選ぶと画像の品質が上がり、ネットワークへの負荷が増えます。
フレーム転送速度	本製品から送信される画像の毎秒あたりの送信フレーム数（何回画面を書き換えることができるか）の上限を設定します。数値が大きくなるほど画像が滑らかになり、ネットワークへの負荷が増えます。
電源周波数	本製品を利用する地域の電源周波数（50Hz（東日本）、60Hz（西日本））を設定します。
明るさ	画像の明るさを設定します。数値を大きくすると明るさが増します。
コントラスト	画像のコントラストの調整をします。数値を大きくすると最も明るい部分と暗い部分の差が大きくなります。
色彩	画像の色具合を設定します。数値を大きくすると青色が強くなり、小さくすると赤色が強くなります。

これで、本製品の基本設定は完了です。

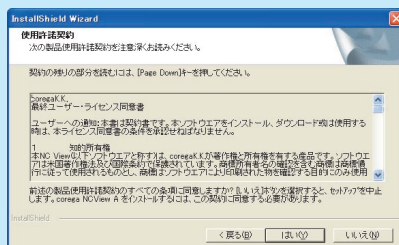
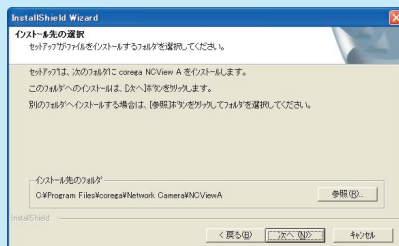
「NCView A」をインストールする

本製品の画像を見るための「NCView A」をインストールしてください。

1 パソコンのCD-ROMドライブに、添付のCD-ROMをセットします。

2 次のような画面が表示されたら、「NCView A」をクリックします。

3 画面の説明にしたがって、「NCView A」をインストールします。

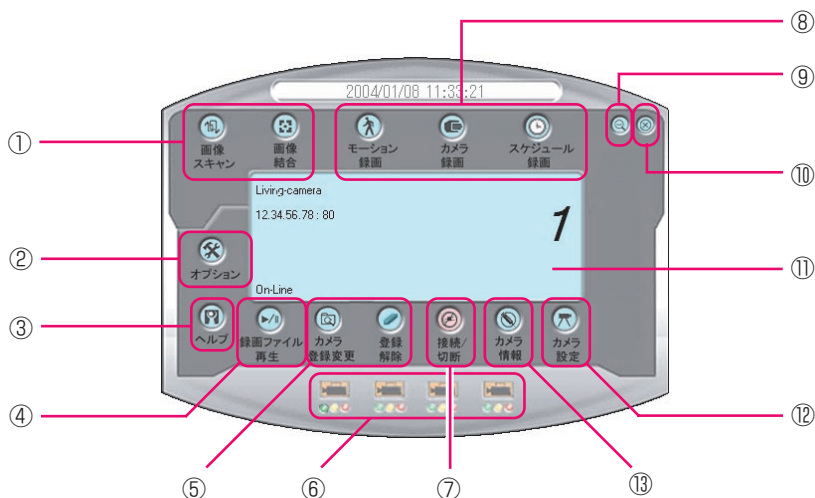
・インストールの途中で、右のような「使用許諾契約」の画面が表示されたら、「はい」をクリックしてください。

・「NCView A」のインストールフォルダを変更したい場合は、「インストール先の変更」画面でインストール先のフォルダを変更してください。

4 「InstallShield Wizard」画面が表示されたら、[完了]をクリックします。

これで、「NCView A」のインストールは完了です。

「NCView A」のメインウィンドウについて

●「NCView A」を起動する

1 [スタート]－「すべてのプログラム」－「corega Network Camera」－「NCView A」－「corega NCView A」をクリックします。

「NCView A」のメインウィンドウが表示されます。

項　目	説　明
①画像スキャン 画像結合	複数のカメラの画像を見るときに使用します。
②オプション	カメラの各種設定を行います。
③ヘルプ	ヘルプ / バージョン情報が表示されます。
④録画ファイル再生	録画ファイルを再生します。
⑤カメラ登録変更 登録解除	カメラの登録 / 変更 / 削除を行います。
⑥カメラアイコン	カメラの登録、切り替えを行います。
⑦接続 / 切断	選択したカメラに接続 / 切断します。
⑧モーション録画 カメラ録画 スケジュール録画	カメラの画像を録画するときに使用します。
⑨(最小化)	「NCView A」のメインウィンドウを最小化し、タスクバーに表示します。
⑩(閉じる)	「NCView A」のメインウィンドウを閉じます。

「NCView A」では本製品の画像を見られるだけでなく、録画時の設定など、本製品の設定もできます。

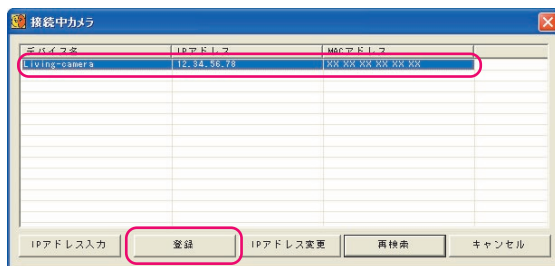
項　目	説　明
⑪表示画面	選択したカメラの情報（IPアドレス、デバイス名）や状態（On-Line/Off-Line）が表示されます。
⑫カメラ設定	クリックするとメインウィンドウの右端に［モーション設定］、［詳細設定］、［ファーム更新］の３つのボタンが表示されます。各ボタンの使い方については、添付CD-ROMの『詳細設定ガイド』「PART1 NCView Aでカメラを操作する」をご覧ください。
⑬カメラ情報	選択したカメラのMACアドレス、ファームウェアバージョンなどの詳細情報が表示されます。

メインウィンドウの各ボタンの機能について詳しくは、添付CD-ROMの『詳細設定ガイド』「PART1 NCView Aでカメラを操作する」をご覧ください。

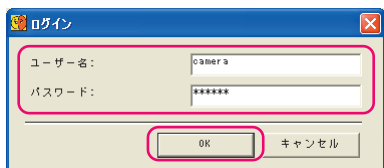
画像が見られるか確認する

1 「NCView A」のメインウィンドウで、登録したいカメラのアイコンをクリックします。

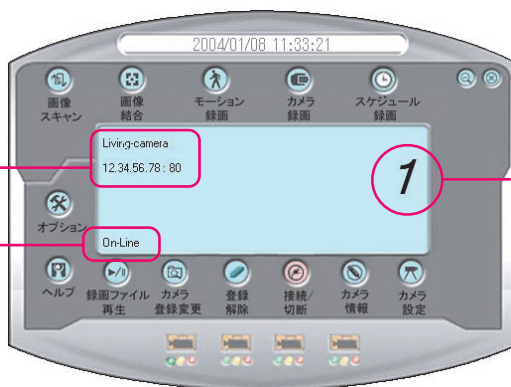
ネットワークに接続されているカメラが検索され、しばらくすると、一覧に表示されます。

2 登録したいカメラを選択し、[登録]をクリックします。

登録したいカメラが表示されないときは、[再検索] をクリックして、検索しなおしてください。それでも表示されないときは、[IPアドレス入力] をクリックして、P.14の手順４で設定したカメラのIPアドレスを直接入力してください。

「NCView A」に本製品を登録し、画像が見られるか確認してください。

3 **P.14の手順3で設定したログイン名とパスワードを入力して、[OK]をクリックします。**

しばらくすると、登録したカメラの画像ウィンドウが表示されます。

また、メインウィンドウの表示が次のように変わります。

メモ

メインウィンドウ、画像ウィンドウの各ボタンの機能については、添付CD-ROMの『詳細設定ガイド』「PART1 NCView Aでカメラを操作する」をご覧ください。

本製品を無線で接続する

・無線の設定も有線接続で行ってください。LAN ケーブルは、設定が完了してから外してください。
・設定を始める前に、本製品と通信相手の機器が通信可能な距離の範囲内にあることを確認してください。本製品の最大通信距離は、動画（MPEG）の送信時 50 m、静止画（JPEG）の送信時 100m です。

1 ［カメラ設定］－［詳細設定］をクリックします。

2 ログイン画面が表示されたら、所有者のログイン名とパスワードを入力します。

本製品に内蔵されている設定画面が表示されます。

3 「システム設定」をクリックします。

本製品をアクセスポイントまたは無線ルーターと無線接続します。本製品の無線設定は、「NCView A」から行います。

4 「ネットワークの設定を確認する」(P.11)で確認した情報をもとに、「システム設定」画面の「ワイヤレス設定」で、次のように設定し、[保存]をクリックします。

項　目	入力例	説　明
通信モード	－	アクセスポイントまたは無線ルーターと通信するときは「Infrastructure」(インフラストラクチャーモード)、本製品とパソコンが直接通信するときは「802.11AdHoc」(アドホックモード)を選択します。
ESSID	corega	無線LANに接続する機器を識別する名前です。アクセスポイントや無線ルーターと同じESSIDを設定してください。ESSIDには、32文字以内の、半角英数文字および半角記号を使用できます(大文字と小文字の区別はありません)。 使用できる半角記号は、次の通りです。 ! " # $ % & ' ( ) * + , - . / : ; < = > ? @ [¥] ^ _ { ¦ } .
チャンネル	6	使用する電波の周波数(無線チャンネル)です。1～11の間で設定できます。 アドホックモードで使用する場合は、使用する電波の周波数を設定します。無線LANアダプターと同じチャンネルを設定します。工場出荷時は「6」に設定されています。 インフラストラクチャーモードで使用する場合はチャンネルを自動的に認識するので設定する必要はありません。
暗号化	－	通信内容を暗号化するWEP機能を利用するかどうかを選択します。アクセスポイントや無線ルーターと同じWEPを設定します。 「OFF」を選択すると、通信内容は暗号化されません。 「64bits」を選択すると、64bit WEPが利用できます。 「128bits」を選択すると、128bit WEPが利用できます。 工場出荷時は、暗号化はされていません。

<table>
<tr><th>入力例</th><th>説　明</th></tr>
<tr><td>WEP キー</td><td>通信内容を暗号化するためのWEPキー（暗号キー）を設定します。アクセスポイントや無線ルーターと同じ WEP キーを設定してください。
Key1 ～ Key4 のそれぞれについて、次のように WEP キーを入力します。
<table><tr><th>暗号化</th><th>WEP キー</th></tr><tr><td>64bits</td><td>16 進数（0 ～ 9、a ～ f）で 10 桁の数字を入力
例：0123456789</td></tr><tr><td>128bits</td><td>16 進数（0 ～ 9、a ～ f）で 26 桁の数字を入力
例：01234567890123456789abcdef</td></tr></table>入力する文字数に過不足がないように注意してください。文字数が少ないと、WEP キーが正しく生成されず、正常に接続できなくなる可能性があります。</td></tr>
<tr><td>デフォルトキー</td><td>Key1 ～ Key4 のうち、使用するキーを選択します。</td></tr>
<tr><td>認証方式</td><td>暗号化で使用する認証方式を選択します。
認証方式には「Open System」と「Shared Key」の２種類があります。アクセスポイントや無線ルーターと同じものを選択してください。
通常は、工場出荷時の「Both」（自動設定）を選択してください。</td></tr>
</table>

パソコン（特に無線 LAN 機能内蔵のノートパソコン）によっては、特定のチャンネルに対応していないものがあります。お使いのパソコンの仕様を確認して、別のチャンネルに変更してください。

お使いの無線LAN機器によっては、64bit WEPは40ビット、128bit WEPは104ビットと表記される場合があります。

設定が変更され、本製品が再起動します。

5 **設定画面を閉じ、「NCView A」を終了します。**

6 **本製品と、接続されている機器の電源を切り、設定用に接続していたLANケーブルを外します。**

7 **本製品と各機器の電源を入れ直して、「NCView A」を起動し、カメラの画像が表示されるか確認します。**

撮影したい場所に本製品を設置する

無線の設定ができたら、本製品を撮影したい場所に設置してください。

添付の『はじめにお読みください』の「安全のために」をお読みになり、使用時の注意について確認してから設置してください。

●設置に適した場所

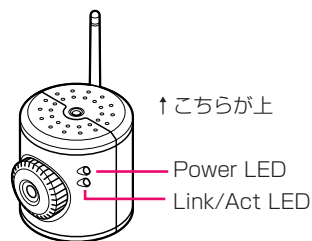
- 水平で落下の恐れがない場所
- 風通しのよい涼しい場所
- 電波の届きやすい障害物のない見通しのよい場所

●設置に適さない場所

- 直射日光が当たる場所
- 暖房器具の近くなど
- 高温多湿の場所
- ホコリの多い場所
- 水や液体がかかる恐れのある場所
- パソコンやモデムなど、発熱する機器の上
- 明るすぎたり、暗すぎたりする場所
  撮影した画像に白い線やノイズが入ったり、ピントが合わないことがあります。
- 蛍光灯などの近く
  照明のちらつきが発生し、撮影した画像にノイズが入ることがあります。

●設置するときの注意

- 本製品に、添付のスタンドを取り付ける場合は、ねじをしっかり締めて固定してください。
- LANケーブルやACアダプターのケーブルに、足を引っ掛けたりすることのないような場所に設置してください。
- 本製品の上下を間違えないように設置してください。
  Power LED、Link/Act LEDがある方が上です。
  逆さまに取り付けると、画像が逆になります。

- 本製品の最大通信距離は、動画(MPEG)の送信時50m、静止画(JPEG)の送信時100mです。ただし、周辺の環境(障害物など)や相手側機器の通信性能、相手側機器との距離などによって、通信速度、距離が大きく変動します。
- 無線で接続する場合は、「NCView A」でカメラの画像が表示されているか確認しながら設置してください。

インターネット経由で画像を見る

ここではダイナミックDNS機能を使って、ドメイン名を指定して本製品にアクセスする方法を説明します。

本製品用にプロバイダーからグローバルIPアドレスを取得した場合や、ルーターのグローバルIPアドレスを固定IPアドレスにしている場合は、ここでの設定とは異なります。添付CD-ROMの『詳細設定ガイド』「ネットワークの設定をする<システム設定>」やルーターの取扱説明書をご覧になり、設定してください。

接続例 1　ルーターを使ってインターネットに接続する

ダイナミックDNS機能、バーチャルサーバー機能のあるルーターで次の設定を行います。ここでは、弊社製ルーター「corega BAR Pro3」での設定手順を例に説明します。

・設定について詳しくは、ルーターの取扱説明書をご覧ください。
・その他の弊社製ルーターでの設定手順は、コレガのホームページで紹介しています。
・ルーターによっては、バーチャルサーバー機能のことを「ポートフォワーディング」、「アドレス変換」、「静的IPマスカレード」、「仮想サーバー」もしくは「ポートマッピング」と呼んでいることもあります。

1 DDNSサイトでサービス登録手続きを行い、ドメイン名を取得します。

DDNSサイトへの登録は、お客様の自己責任で行ってください。登録に関して弊社では一切責任を負いませんので、ご了承ください。

ここでは、DDNSサイト「http://dp-21.net」でドメイン名、ユーザー名、パスワードを次のように登録したものとして説明します。

ドメイン名	core-net.server.cc
ユーザー名	corega
パスワード	passwordxx

インターネット経由で画像が見られるように、設定をします。接続例に応じた説明をご覧ください。

2 ルーターでダイナミックDNSの設定を行います。

corega BAR Pro3では、「アドバンスド設定」－「ダイナミック DNS」で次のように設定します。

3 ルーターでバーチャルサーバーの設定を行います。

corega BAR Pro3では、「アドバンスド設定」－「バーチャル･サーバー」で次のように設定します。

表示される画面で次のように設定します。

表示される画面で「有効」を選択し、［設定］をクリックします。

これでルーターの設定は完了です。

ルーターでインターネット（WAN側）からのアクセス制御（IPフィルターなど）が設定されているときは、インターネットからアクセスできるように設定してください。設定についてはルーターの取扱説明書をご覧ください。

接続例2　アクセスポイントとモデムを使ってインターネットに接続する

「本製品の基本設定をする」の手順6（P.17）の設定が完了していれば、インターネット経由で本製品に接続できます。

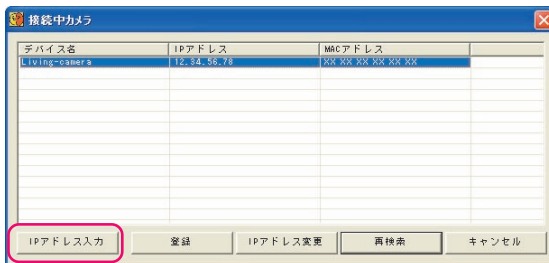
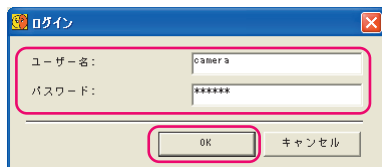
インターネット経由で画像を見るには

「NCView A」でインターネット経由で画像を見るには、次のようにします。

1 「NCView A」を起動します。

2 メインウィンドウが表示されたら、登録したいカメラのアイコンをクリックします。

3 [IPアドレス入力]をクリックします。

インターネットを経由している場合は、カメラは自動で検索されません。

4 DDNSサイトで取得したドメイン名を入力し、[登録]をクリックします。

ポートを指定している場合はドメイン名の後に「:(指定したポート番号)」を入力してください。

画面は入力例です。

5 P.14の手順3で設定したログイン名とパスワードを入力して、[OK]をクリックします。

しばらくすると、登録したカメラの画像ウィンドウが表示されます。

おことわり

- Windows XPは、Microsoft Windows XP Home Edition Operating System 日本語版 Service Pack 1またはMicrosoft Windows XP Profesional Operating System 日本語版 Service Pack 1のいずれかを指します。
- coregaは、株式会社コレガの登録商標です。
- Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Yahoo!とYahoo!のロゴマークは、米国ヤフーの登録商標または商標であり、ヤフー株式会社はこれらに関する権利を保有しています。
- フレッツは、東日本電信電話株式会社および西日本電信電話株式会社の登録商標です。
- その他、この文書に掲載しているソフトウェアおよび周辺機器の名称は各メーカーの商標または登録商標です。

- 予告なく本書の一部または全体を修正、変更することがありますがご了承ください。
- 改良のため製品の仕様を予告なく変更することがありますがご了承ください。
- 本製品の仕様またはそのご使用により発生した損害については、いかなる責任も負いかねますのでご了承ください。

2004年2月　Rev.A　初版